

福岡女学院大学

(該当ページ)

主要点検・評価項目	人文科学研究科
Ⅱ 大学院における主要点検・評価項目	
1 大学院研究科の使命および目的・教育目標	
A群・大学院研究科の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性	p. 10-10
B群・大学院研究科の理念・目的とそれに伴う人材養成等の目的の達成状況	p. 10-10
2 修士課程・博士課程の教育内容・方法等	
(1) 教育課程等	
(大学院研究科の教育課程)	
A群・大学院研究科の教育課程と各大学院研究科の理念・目的並びに学校教育法第65条、大学院設置基準第3条第1項、同第4条第1項との関連	p. 67-68
B群・「広い視野に立って清深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養う」という修士課程の目的への適合性	p. 67-68
・「専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」という博士課程の目的への適合性	—
A群・学部基礎を置く大学院研究科における教育内容と、当該学部の学士課程における教育内容の適切性及び両者の関係	p. 67-68
A群・修士課程における教育内容と、博士(後期)課程における教育内容の適切性及び両者の関係	—
・博士課程(一貫制)の教育課程における教育内容の適切性	—
・課程制博士課程における、入学から学位授与までの教育システム・プロセスの適切性	—
C群・創造的な教育プロジェクトの推進状況	—
(単位互換、単位認定等)	
B群・国内外の大学等と単位互換を行っている大学院研究科にあっては、実施している単位互換方法の適切性	—
(社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮)	
A群・社会人、外国人留学生に対する教育課程編成、教育研究指導への配慮	p. 68-69
(生涯学習への対応)	
C群・社会人再教育を含む生涯学習の推進に対応させた教育研究の実施状況	—
(専門大学院のカリキュラム)	
A群・カリキュラム全体において、ケース・スタディ、ディベート、フィールドワーク等の授業科目が占める割合	—
・高度専門職業人としての活動を倫理面から支えることを目的とした授業科目の開設状況	—
・高度専門職業人養成機関に相応しい教育内容・方法の水準を維持させる学内的方途の適切性	—
・高度専門職業人養成機関に相応しい修了認定	—
C群・学外での経験・活動等を単位認定する際の、認定単位の適切性	—
(独立大学院等の教育課程)	
C群・学部基礎を置かない独立大学院、独立研究科における、下位の学位課程の教育内容・レベルを視野に入れた当該課程の教育内容の適切性	—
(連合大学院の教育課程)	
B群・連合大学院における、教育内容の体系性・一貫性を確保するための方途の適切性	—
C群・複数の異なる大学の大学院課程からなる連合大学院における、下位の学位課程の教育内容・レベルを視野に入れた当該課程の教育内容の適切性	—
(「連携大学院」の教育課程)	

主要点検・評価項目	人文科学研究科
B群・研究所等と連携して大学院課程を展開する「連携大学院」における、教育内容の体系的性・一貫性を確保するための方途の適切	—
(研究指導等)	
A群・教育課程の展開並びに学位論文の作成等を通じた教育・研究指導の適切性	p. 70-71
A群・学生に対する履修指導の適切性	p. 70-71
B群・指導教員による個別的な研究指導の充実度	p. 70-71
C群・複数指導制を採っている場合における、教育研究指導責任の明確化	p. 70-71
・教員間、学生間及びその双方の間の学問的刺激を誘発させるための措置の適切性	p. 70-71
・研究分野や指導教員にかかる学生からの変更希望への対処方策	p. 70-71
・才能豊かな人材を発掘し、その才能に適った研究機関等に送り込むことなどを可能ならしめるような研究指導體制の整備状況	—
(医学系大学院の教育・研究指導)	
B群・医学系大学院における臨床系専攻の学生に対し、病院内でなされる教育・研究指導とこれを支える人的、物的体制の充実度	—
・医学系大学院における臨床系専攻の学生について、臨床研修と研究の両立を確保させるための配慮の状況とその適切性	—
(「連携大学院」における研究指導等)	
C群・「連携大学院」における、体系的な研究指導等を確保するための方途の適切性	—
(2) 教育方法等	
(教育効果の測定)	
B群・教育・研究指導の効果を測定するための方法の適切性	p. 71-72
C群・修士課程、博士課程修了者（修業年限満期退学者を含む）の進路状況	p. 71-72
・大学教員、研究機関の研究員などへの就任状況と高度専門職への就職状況	—
(成績評価法)	
B群・学生の資質向上の状況を検証する成績評価法の適切性	p. 72-72
(教育・研究指導の改善)	
A群・教員の教育・研究指導方法の改善を促進するための組織的な取り組み状況	p. 73-73
・シラバスの適切性	p. 73-73
B群・学生による授業評価の導入状況	p. 73-73
C群・学生満足度調査の導入状況	p. 73-73
・卒業生に対し、在学時の教育内容・方法を評価させる仕組みの導入状況	—
・高等教育機関、研究所、企業等の雇用主による卒業生評価の導入状況	—
(3) 国内外における教育・研究交流	
B群・国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の明確化の状況	p. 40-43
・国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切	p. 40-43
C群・国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況	—
・外国人研究者の受け入れ体制とその運用の適切性	—
・教育研究及びその成果の外部発信の状況とその適切性	—
・国際的な教育研究交流、学術交流のために必要なコミュニケーション手段修得のための配慮の適切性	—
(4) 学位授与・課程修了の認定	
(学位授与)	
A群・修士 博士の各々の学位の授与状況と学位の授与方針・基準の適切性	p. 74-75
B群・学位審査の透明性・客観性を高める措置の導入状況とその適切性	p. 74-75
C群・修士論文に代替できる課題研究に対する学位認定の水準の適切	—
・学位論文審査における、当該大学(院)関係者以外の研究者の関与の状況	—

主要点検・評価項目	人文科学研究科
・留学生に学位を授与するにあたり、日本語指導等講じられている配慮措置の適切性	—
(課程修了の認定)	
B群・標準修業年限未滿で修了することを認めている大学院における、そうした措置の適切性、妥当性	p. 75-75
(5) 通信制大学院	
A群・通信制大学院における、教育研究指導方法・単位認定・学位授与の適切性とそのため条件整備の適切性	—
3 学生の受け入れ	
(学生募集方法、入学者選抜方法)	
A群・大学院研究科の学生募集の方法、入学者選抜方法の適切性	p. 109-111
(学内推薦制度)	
B群・成績優秀者等に対する学内推薦制度を採用している大学院研究科における、そうした措置の適切性	p. 111-112
(門戸開放)	
A群・他大学・大学院の学生に対する「門戸開放」の状況	p. 112-112
(飛び入学)	
B群・「飛び入学」を実施している大学院研究科における、そうした制度の運用の適切性	—
(社会人の受け入れ)	
B群・社会人学生の受け入れ状況	p. 112-113
(科目等履修生、研究生等)	
C群・科目等履修生、研究生、聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性	p. 113-113
(外国人留学生の受け入れ)	
C群・外国人留学生の受け入れ状況	p. 113-114
・留学生の本国地での大学教育、大学院教育の内容・質の認定の上に立った学生受け入れ・単位認定の適切性	—
(定員管理)	
A群・収容定員に対する在籍学生数の比率および学生確保のための措置の適切性	p. 114-115
4 教員組織	
(教員組織)	
A群・大学院研究科の理念・目的並びに教育課程の種類、性格、学生数との関係における当該大学院研究科の教員組織の適切性、妥当性	p. 127-127
C群・任期制等を含む、教員の適切な流動化を促進させるための措置の導入状況	—
(研究支援職員)	
B群・研究支援職員の充実度	p. 117-119
・「研究者」と研究支援職員との間の連携・協力関係の適切性	p. 117-119
C群・高度な技術を持つ研究支援職員を育成し、その技術を継承していくための方途の導入状況	—
・ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントの制度化の状況とその活用の適切性	p. 117-119
(教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続)	
A群・大学院担当の専任教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続の内容とその運用の適切性	p. 128-128
C群・「連携大学院」や併任教員を擁する国立大学院における教員の任用基準の明確化とその運用の適切性	—
(教育・研究活動の評価)	
B群・教員の教育活動及び研究活動の評価の実施状況とその有効性	p. 120-121
C群・教員の研究活動の活性度合いを評価する方法の確立状況	p. 120-121
・教員の自己申告に基づく教育と研究に対する評価方法の導入状況	—
(大学院と他の教育研究組織・機関等との関係)	
B群・学内外の大学院と学部、研究所等の教育研究組織間の人的交流の状況とその適切性	p. 128-129
5 研究活動と研究環境	

主要点検・評価項目	人文科学研究科
(1) 研究活動	
(研究活動)	
A群・論文等研究成果の発表状況	p. 138－138
C群・国内外の学会での活動状況	p. 138－138
・当該大学院・研究科として特筆すべき研究分野での研究活動状況	p. 138－138
・研究助成を得て行われる研究プログラムの展開状況	p. 138－138
(研究における国際連携)	
C群・国際的な共同研究への参加状況	p. 132－132
・海外研究拠点の設置状況	—
(教育研究組織単位間の研究上の連携)	
A群・附置研究所とこれを設置する大学・大学院との関係	p. 133－133
C群・大学共同利用機関、学内共同利用施設等とこれが置かれる大学・大学院との関係	p. 133－133
(2) 研究環境	
(経常的な研究条件の整備)	
A群・個人研究費、研究旅費の額の適切性	p. 133－135
・教員個室等の教員研究室の整備状況	p. 133－135
・教員の研究時間を確保させる方途の適切性	p. 133－135
A群・研究活動に必要な研修機会確保のための方策の適切性	p. 133－135
B群・共同研究費の制度化の状況とその運用の適切性	p. 133－135
(競争的な研究環境創出のための措置)	
C群・科学研究費補助金及び研究助成財団などへの研究助成金の申請とその採択の状況	p. 135－136
・学内的に確立されているデュアルサポートシステム（基般（経常）的研究資金と競争的研究資金で構成される研究費のシステム）の運用の適切性	p. 135－136
・流動研究部門、流動的研究施設の設置・運用の状況	—
・いわゆる「大部門化」等、研究組織を弾力化するための措置の適切性	—
(研究上の成果の公表、発信・受信等)	
C群・研究論文・研究成果の公表を支援する措置の適切性	p. 136－136
・国内外の大学や研究機関の研究成果を発信・受信する条件の整備状況	p. 136－136
(倫理面からの研究条件の整備)	
C群・倫理面から実験・研究の自制が求められている活動・行為に対する学内的規制システムの適切性	—
・医療や動物実験のあり方を倫理面から担保することを目的とする学内的な審議機関の開設・運営状況の適切性	—
6 施設・設備等	
(1) 施設・設備	
(施設・設備等)	
A群・大学院研究科の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性	p. 146－147
B群・大学院専用の施設・設備の整備状況	p. 146－147
C群・大学院学生用実習室等の整備状況	p. 146－147
(先端的な設備・装置)	
C群・先端的な教育研究や基礎的研究への装備面の整備の適切性	—
・先端的研究の用に供する機械・設備の整備・利用の際の、他の大学院、大学共同利用機関、附置研究所等との連携関係の適切性	—
(独立研究科の施設・設備等)	
C群・独立研究科における、当該研究科専用の施設等の整備の適切性	—
(夜間大学院などの施設・設備等)	
C群・夜間に教育研究指導を行う大学院における、施設・設備の利用やサービス提供についての配慮の適切性	—
(本校以外に拠点を持つ大学院の施設・設備等)	

主要点検・評価項目	人文科学研究科
C群・本校以外の場所にも拠点を置き、教育研究指導を行う大学院における施設・設備の整備の適切性	—
(維持・管理体制)	
A群・施設・設備等を維持・管理するための学内的な責任体制の確立状況	p. 144-145
B群・実験等に伴う危険防止のための安全管理・衛生管理と環境被害防止の徹底化を図る体制の確立状況	p. 144-145
(2) 情報インフラ	
B群・学術資料の記録・保管のための配慮の適切性	p. 140-142
・国内外の他の大学院・大学との図書等の学術情報・資料の相互利用のための条件整備とその利用関係の適切性	p. 140-142 p. 156-158
C群・コンテンツ（文書、画像、データベース等のネットワークを流通する情報資源）やアプリケーション・ソフト（個々の応用目的をもったコンピュータソフトウェア）の大学・大学院間の効率的な相互利用を図るための各種データベースのナビゲーション機能の充実度	p. 140-142 p. 156-158
・資料の保存スペースの狭隘化に伴う集中文献管理センター（例えば、保存図書館など）の整備状況や電子化の状況	—
7 社会貢献	
(社会への貢献)	
B群・研究成果の社会への還元状況	p. 159-171
C群・地方自治体等の政策形成への寄与の状況	p. 159-171
(企業等との連携)	
C群・寄附講座、寄附研究部門の開設状況	—
・大学院・大学とそれ以外の社会的組織体・研究機関との教育研究上の連携策	p. 171-172
・企業等との共同研究、受託研究の規模・体制・推進の状況	—
・奨学寄附金の受け入れ状況	—
(特許・技術移転)	
C群・特許の取得状況	—
・工業所有権の取得状況	—
・特許料収入の研究費への還元状況の適切性	—
・特許取得を「研究業績」として認定する学内的措置の適切性	—
・TLOの設立と運用の状況	—
・TLO・リエゾンオフィス等の整備状況	—
・技術移転等を支援する体制（相談業務、手続業務など）の整備状況	—
(産学連携と倫理規定等)	
C群・「産学連携に伴う利害関係の衝突」に備えた産学連携にかかるルールの明確化の状況	—
・発明取扱い規程、著作権規程等、知的資産に関わる権利規程の明文化の状況	—
8 学生生活への配慮	
(学生への経済的支援)	
A群・奨学金その他学生への経済的支援を図るための措置の有効性、適切性	p. 187-187
C群・各種奨学金へのアクセスを可能にさせるための方途の適切性	p. 187-187
(学生の研究活動への支援)	
C群・学生に対し、研究プロジェクトへの参加を促すための配慮の適切性	p. 187-188
・学生に対し、各種論文集及びその他の公的刊行物への執筆を促すための方途の適切性	p. 187-188
(生活相談等)	
A群・学生の心身の健康保持・増進及び安全・衛生への配慮の適切性	p. 175-180
A群・ハラスメント防止のための措置の適切性	p. 175-180
(就職指導等)	
A群・学生の進路選択に関わる指導の適切性	p. 188-189
9 管理運営	

主要点検・評価項目	人文科学研究科
(大学院の管理運営体制)	
A群・大学院研究科の教学上の管理運営組織の活動の適切性	p. 199-199
B群・大学院の審議機関（大学院研究科委員会など）と学部教授会との間の相互関係の適切性	p. 199-199
・大学院の審議機関（同上）の長の選任手続の適切性	p. 199-199
10 事務組織	
B群・大学院の充実と将来発展に関わる事務局としての企画・立案機能の適切性	p. 208-211
・大学院に関わる予算(案)編成・折衝過程における事務組織の役割とその適切性	p. 208-211
・大学院運営を経営面から支えうるような事務局機能の確立状況	p. 208-211
C群・大学院の教育研究を支える独立の事務局体制の整備状況	—
11 自己点検・評価	
(自己点検・評価)	
A群・自己点検・評価を恒常的に行うための制度システムの内容とその活動上の有効性	p. 214-215
・自己点検・評価の結果を基礎に、将来の発展に向けた改善・改革を行うための制度システムの内容とその活動上の有効性	p. 215-216
(自己点検・評価に対する学外者による検証)	
B群・自己点検・評価結果の客観性・妥当性を確保するための措置の適切性	p. 216-217
C群・学外の専門的研究者等による評価の適切性	—
12 情報公開・説明責任	
(自己点検・評価)	
A群・自己点検・評価結果や外部評価結果の学内外への発信状況とその適切性	p. 220-221